

# 要望書

東武野田線(野田市)連続立体交差事業の  
計画的かつ円滑な事業実施のため、関連  
事業を含めた国の道路関係予算の確保

平成30年8月

千葉県 野田市

野田市は、千葉県北西部に位置し、江戸川や利根川を挟んで埼玉県及び茨城県と接し、市域を東武野田線が南北に縦貫しているため、市街地は分断され、両県の発展に伴う交通量の増加により、主要地方道つくば野田線及び主要地方道野田牛久線と交差する愛宕駅や野田市駅付近は、慢性的な交通渋滞が生じ、市域発展の大きな障害となっております。

こうしたことから、東武野田線連続立体交差事業により、愛宕駅、野田市駅の2駅を含む延長約2.9キロメートル区間の鉄道を高架化し、11箇所の踏切除却と交差する幹線道路の整備により、交通渋滞や踏切事故の解消、歩行者等の安全確保を図り、鉄道により分断された市街地の一体化などのまちづくりを進めております。

現在、当連続立体交差事業は、全線で仮線運行が開始され、愛宕駅東口においては、仮駅舎の開設により暫定駅前広場からのアクセスが可能となり、駅利用者の利便性が向上したところであります。

今年度は、事業完成に向け、駅部の取り壊しを行い、全線の高架橋工事を本格的に進めてまいります。

また、市民の皆様は事業への関心をもって頂き、当該事業に対する理解や協力が得られるよう、事業PR活動に取り組んでおり、連続立体交差事業及び関連事業等の広報誌を作成し、沿線自治会や駅利用者などに配布するとともに、ホームページに掲載を行っており、最近では、目に見えて工事が進むようになったため、早期完成を望んでいるとのご意見を伺えたところでございます。

野田市は、本事業に合併特例債を活用し、35年度を事業完了の目標とし全力で取り組んでおり、バリアフリー法による原則、32年度までの移動円滑化基準への適合整備の方針に基づき、より一層の早期事業の促進を図りたいと考えております。

また、関連する駅前広場や道路整備については、連続立体交差事業と緊密に関わり、高架切替えとともに事業効果を発現する必要があることから、市としては、重点事業に位置付け、街路事業や土地区画整理事業等の進捗を図るよう積極的に努めているところであります。

こうした状況を踏まえ、国におかれましては、当連続立体交差事業を着実に進めるため、次の事項について特段の御配慮を賜りたく要望いたします。

なお、昨年度予算により、全線の仮線運行が開始されましたこと、また、新たに創設されました交通拠点連携集中支援事業による補助率の引き上げにより、必要予算の確保と集中投資が適切に実施できることとなり、厚く御礼申し上げます。

- 一 東武野田線(野田市)連続立体交差事業の計画的かつ円滑な事業実施のため、関連事業を含めた国の道路関係予算の確保

平成30年8月23日

野田市長 鈴木 有